



LEARNING COMMONS



GLOBAL COMMONS



STUDENT COMMONS



AV COMMONS



CYBERMEDIA COMMONS
NEW!

コモンズ入門。

気が付けば、大阪大学には「コモンズ」と名のつく空間がたくさん。

ステューデント・コモンズ、ラーニング・コモンズ、グローバル・コモンズ、AVコモンズ、サイバーメディアコモンズ。他にもまだまだ新しいコモンズが現れるかもしれません。

コモンズにはいつ訪れても学生がいます。どのようにコモンズを使っているのでしょうか?

また、それぞれのコモンズはどのような特徴があるのでしょうか?

コモンズについて調べてみましょう。

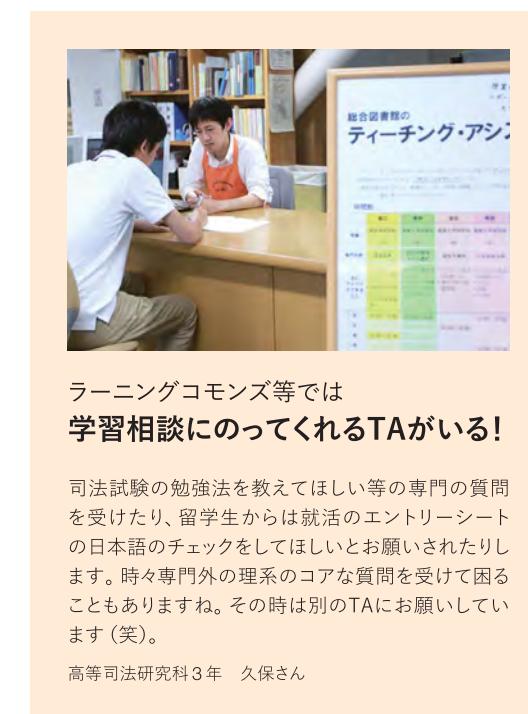
そして、まだ使ったことのない学生に「こんな良いところがあるよ」とすすめてみましょう。



ラーニング・コモンズ

(各キャンパスの附属図書館)

2009年に総合図書館(豊中キャンパス)と理工学図書館(吹田キャンパス)に開設。その後、外国学図書館(箕面キャンパス)、生命科学図書館(吹田キャンパス)、と順次すべての附属図書館に同様のスペースが設けられた。その後、2014年~2015年にかけて総合図書館と理工学図書館ではスペースの拡張や新しい機器の導入などを行い、アクティブ・ラーニング・スペースの充実を図っている。



G グローバル・コモンズ

(豊中キャンパス)

2012年総合図書館(豊中キャンパス)に開設。学生の利用頻度は高く、試験期間中には、このエリアは24時間開放されている。

2013年には、日経ニューオフィス賞において、近畿ニューオフィス特別賞「ラーニング・コモンズ賞」を受賞。



僕の場合、空いているかどうかでどのコモンズを使うか決めてますね(笑)。



教職課程を受ける
1年・男子

色々な授業でグループを作って課題にあたるというのが多いので、コモンズはよく使います。



2年・女子

1人の時でも使えるスペースがあるので、試験勉強に使ったりしていますね。



M1・女子

S ステューデント・コモンズ

(豊中キャンパス)

学生同士あるいは学生と教職員との対話、学生・教職員企画のイベント、留学生との交流、その他様々なイベントに利用されている共有空間。

1階のQuartierは「カフェゾーン」「情報ゾーン」「自習ゾーン」から構成され、屋外デッキも設置。2007年に豊中キャンパスの全学教育推進機構総合棟Iに設置され、10年には「日経ニューオフィス賞」を受賞。



A AVコモンズ

(箕面キャンパス)

外国学図書館の4階にあり、隣接するAVライブラリーの視聴覚資料や音声資料をグループで利用可能。9か国語の衛星放送の視聴も可能。

4ブースと70インチの大型モニター1台を備え、利用人数や用途にあわせ20席を自由にレイアウトできる。(AVライブラリーは、個人で利用する施設)



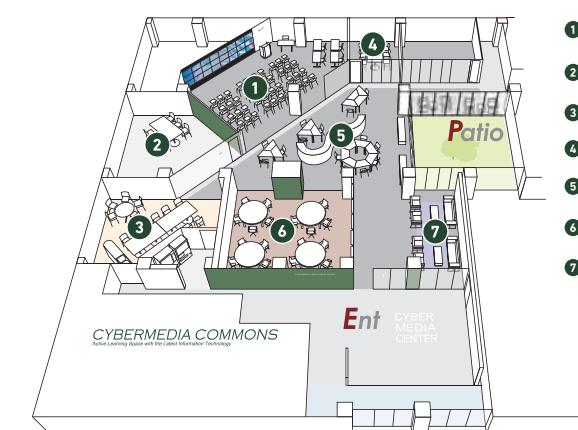


この5月、新たなコモンズが登場

吹田のサイバーメディアセンター内に、学生や研究者が自由に議論できるアクティブラーニングスペースが完成。6.5m×2.4mの大画面で、世界最高水準の大規模立体可視化システムが設置されたレクチャールーム「Mishité(ミシテ)」や、3Dプリンター、大判プリンターなど普段は使えない高性能機器が利用できる「i→Re(イーレ)」等がある。何より、吹田キャンパスには少なからず、学生が自由に語らい、くつろげる空間として期待できる。また、このコモンズは2014年に学生によるデザインコンペが行われ、学生の意見が取り入れられた空間となっている点もユニーク。

私のゼミでは、大画面のスクリーンを使わしてもらってミーティングをしています。建築分野は図面を印刷する必要があるので、大判プリンターが使えるのも有難いですね。オシャレな空間ですし、吹田の学部生にとっては、気軽に立ち寄ってゆっくりできる場所が少ないので、今後はそういう場所になればいいなと思います。

利用者のサポートをしてくれる
学生スタッフ・西尾さん(工M2)



- ① **Mishité** ビジュアライゼーションラボラトリー
- ② **i→Re** ファブリケーションラボラトリー
- ③ **Café** カフェ
- ④ **Meeting** ミーティングルーム
- ⑤ **Freesp** フリースペース
- ⑥ **e-Lounge** CALLシステム
- ⑦ **Lobby** ロビー

